

# ふみびと

## いつもと違う いつもの景色

### ご縁

第361号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

いつもと少し違って見えるような気がする朝日。「明けましておめでとうございます」

こちらもいつもとは違って、朝の挨拶を家族と交わすと、新しい年を迎えたことを感じるような気がします。

家族なだからそんなに畏まった挨拶をしなくてもいいんじゃないかと、子どもの頃は思っていたのですが、いつの間にかそれが当たり前になり、新年の挨拶に限っては、

しっかりと形式通りに行うようになったところは、伝統を重んじる国民性なのでしょいか。いつしかそんな「形式」のおかげで、新しい年へと移る気持ちのスイッチが切り替えられるようになったように思います。

「新しい年」皆さんにとってはどうなる一年になるでしょうか。ある人はもっと上を目指す一年に、またある人は現状維持を、あるいは今年はもっと歩みの速さを

時々の景色や静かな時間を呼び起こしてくる。そうした記憶は、自分をそっと励ましてくれる気がする

一年前の手帳を開く。1月のページには、目標や予定が並んでいる。手帳の文字は、そのときの自分を映し出しているようで、少し懐かしい気持ちになる。そこには日々の記録とそのときの自分の気持ちや願いが刻まれている。「月がきれいだった」と書かれた小さな一行。その短い言葉が、当

### 新しい物語

る。そして、隣に並べた新しい手帳を開く。ほとんど何も書かれていない余白の中に、これからどんな

新しい物語が生まれていく。新しい手帳とともに始まる一年が、穏やかで心温まる日々を彩られるように願いを込めて。



緩めて家族や友人との時間を増やしたいと思う方もいるかもしれません。

それぞれの歩みの速さで、それぞれの方向に向かっていて、皆さんが集まっている文通村。

「普通」に生きていたらきつと出会うことはなかったであろう人と人が、文通という同じ時間の流れ、同じ歩みの速さで言葉をお互いに交わすことは、皆さん同士に「普通」以上

のご縁があったからなのかもしれません。目に見えないものを強く信じる方ではないけれど、目に見えないご縁が、村に集まってくださった皆さんを繋いで、月に二回のゆったりとした時間をもたらしてくれたら嬉しく思います。皆さんが交わす言葉を通して、今までの「いつも」と少し違う景色が見られますようにお便りをお届けします。本年も宜しくお願致します。

### 風に揺られて誰かに届け 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。送り方は簡単♪下の風船便切手を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書きだす。事務信同の筒さで流し宛封下まで交り局用封今いま



### 次回発送日

次回発送日は27日の予定です。送りたいお手紙がある場合は24日までに事務局に到着することを、お近くの郵便局で確認の上、ポストに投函して下さい。

### 感想・体験談

皆さんのお声をウェブ上で掲載させて頂き、方法は事務局宛てのメモや便せん、何でも有り難いです。頂いたメッセージは個人情報保護を伏せた上でご紹介させて頂きます。ご要望等もお気軽にお送りください。

